

米国特許取得企業ランキングで世界第3位・日本第1位 36年連続で世界5位以内を維持

米国の特許専門調査会社IFI CLAIMSパテントサービスによると、2021年に米国特許商標庁（USPTO）に登録された特許数（速報値）は、キヤノンが3位となり、36年連続で世界5位以内を維持しました。これは、世界の企業で唯一、キヤノンが達成した記録です。また、日本企業においては、17年連続1位となりました。

キヤノンでは、日本国内はもとより海外での特許取得も重視しており、地域ごとの事業戦略や技術・製品動向を踏まえた上で特許の権利化を推進しています。特に米国は、世界最先端の技術をもつ企業が多く市場規模も大きいことから、米国での特許出願については、事業拡大、技術提携の双方の視点から注力しています。

【米国特許取得件数における世界企業・日本企業中のキヤノンのランキングおよび特許取得件数】

年	世界企業ランキング	日本企業ランキング	取得件数（件）
2021年	3位	1位	3,022
2020年	3位	1位	3,225
2019年	3位	1位	3,548
2018年	3位	1位	3,051
2017年	3位	1位	3,284
2016年	3位	1位	3,662
2015年	3位	1位	4,127
2014年	3位	1位	4,048
2013年	3位	1位	3,820
2012年	3位	1位	3,173
2011年	3位	1位	2,818
2010年	4位	1位	2,551
2009年	4位	1位	2,200
2008年	3位	1位	2,107
2007年	3位	1位	1,983
2006年	3位	1位	2,368
2005年	2位	1位	1,829

* 2021年の特許取得件数はIFI CLAIMSパテントサービスの発表（2022年1月11日時点）に基づく。2005年～2020年の件数は米国特許商標庁（United States Patent and Trademark Office, USPTO）の公開情報に基づく。

キヤノンは現在、商業印刷、ネットワークカメラ、医療機器、産業機器の4つの新規事業を飛躍させようとしています。また、次世代イメージング、次世代ヘルスケア、スマートモビリティなど将来のビジネス創出にも力を入れています。これらの新しい事業が持続的に発展・成長するために、事業を支えるコアコンピタンス技術の特許出願・権利化はもちろんのこと、時代を見据えてさまざまな分野の技術についても特許出願・権利化を行い、強い特許ポートフォリオを維持するための活動を行っています。今後も知的財産活動によって事業を支え、付加価値の高い製品・サービスを提供し、より良い未来社会の創生に貢献していきます。